

令和4年(2022年)11月3日(木曜日)

大浜公園再整備12億円増

静岡市補正計上へ

物価高 総額35.7億

静岡市が民間資金活用による社会資本整備(PFI)を活用して再整備する大浜公園(同市駿河区)の事業費が、物価高騰のおおりで当初計画の約1.5倍となる12億円増の35億7千万円に上る見通しになったことが2日、関係者への取材で分かった。市は当初の債務負担行為に増額分の事業費

を追加し、2022年度11月補正予算案に盛り込む方向で調整している。24日開会予定の市議会11月定例会に提出する方針。

大浜公園の再整備事業は民間のノウハウを取り入れ、ウォーター 슬라이ダーのあるプール、カフェ、レストランなどを設ける計画。25年7月の供用開始を

目指している。市は21年度11月補正予算で事業費23億7千万円の債務負担行為を設定。今春に事業者を公募する入札を行ったが、参加要件を満たす事業者がなく、不調に終わった。

関係者によると、市が再公募に向け事業者に聞き取り調査をした結果、プール整備に必要な繊維強化プラスチック(FRP)の施工費や、現施設を解体する重機の燃料費などが高騰していることが分かり、事業費を練り直した。増加分の事業費を含めた債務負担行為が市議会11月定例会で認められれば、市は年内にも事業者の再公募をかけると思われる。

大浜公園は1930年に開園し、無料の屋外プールが市民に親しまれてきた。新型コロナウイルスの影響を受けながらも、今夏は3年ぶりのプール開きにこぎ着けた。10月下旬には地元



市民に親しまれてきた大浜公園のプール。再整備の事業費が大幅に増額する見通しになった＝7月、静岡市駿河区

の駿河区自治会連合会が、大浜公園再整備の早期完了を市に要望していた。再整備後のプールは維持管理の観点から、有料化される見通し。(政治部・鈴木文之)